

service
kindness
compassion
commitment
solutions
action
impact



Lions Clubs International
FOUNDATION

世界でライオンズの奉仕に力を与える財団

ライオンズクラブ国際協会とLCIFは雇用の機会均等を実現します。

国際本部

Lions Clubs International Foundation Headquarters

300 West 22nd Street

Oak Brook, IL 60523-8842

USA

+1 630.571.5466

lionsclubs.org/ja/donate

Lions Clubs International Foundation
ライオンズクラブ国際財団

2017-2018年度 年次報告書

人道奉仕事業をおこない
地域と世界に希望をもたらす
ライオンズとそのパートナーの取り組みを
交付金を通じて支援します。



目次

理事長からのメッセージ / 5

LCIFの投資とインパクト / 7

LCIF創立50周年を祝って / 9

キャンペーン100：LCIF奉仕に力を。 / 11

世界のニーズに応じて / 13

LCIF交付金：2017-2018年度 / 15

私たちのパートナー / 37

寄付者を称えて / 39

LCIF理事会 / 41

寄付しよう / 43

財務報告 / 45

LCIFグローバル重点分野

この報告書では、ライオンズが力を入れて活動してきた分野、近年特に力を入れている糖尿病への取り組み、また、小児ガン、食糧問題、環境保全といった新しい分野でのライオンズの取り組みについて紹介しています。詳細は17ページ以降をご覧ください。



「私たちの財団であるLCIFの理事長として活動したこの1年は、私の人生をより豊かなものにしてくれました。」

1978年にこの素晴らしいクラブに入会して以来、ライオンズの仲間から多くを学び、刺激を受けてきました。そして、LCIF理事長在任中の1年は、LCIFの資金とガイダンスの下、ライオンズが世界中で本当に幅広い活動をしていることを良く知ることとなりました。12ヵ月間世界を飛び回って訪問した交付金事業の数々は、私たちがいかに力を合わせて事業をやり遂げるかを見事に示してくれました。

私は世界各地が自然災害に見舞われる試練の時に理事長に就任しました。しかし、驚いたことに、私の目に真っ先に飛び込んできたのは悲惨な光景ではありません。それは、ライオンズが最も得意とすること—助けが必要な人々に奉仕する姿でした。

米国テキサス州ヒューストンのライオンズは、自宅、車、写真など思い出の品々を全て失った地域住民を助けるための行動計画を直ちに立ち上げました。また、日本では、土砂崩れで地域が壊滅的な被害を受けた後、地域住民が少しでも安心出来るようにと、毛布、食料、飲料水を配るライオンズの姿がありました。

理事長としての1年を過ごす中で、財団がはしか・風疹予防接種の推進に3千万ドルを集め、Gaviワクチン・アライアンスがマッチング資金を提供し、4,950万人の子どもたちに予防接種を提供出来たことを知った時は、ライオンズの皆と共に喜びました。また、ライオンズクエストは新しい地域へと広がり、性の平等や薬物乱用防止などの重要課題を取り上げるようになりました。

エチオピアやウガンダでは、失明の原因となるトラコーマ撲滅に向けた活動が躍進し、この病気を患う人々が視力だけでなく、自立をも取り戻しました。

様々思い出される中でも特にうれしかったのは、財団創立50周年記念を祝ったことでした。世界中のライオンズが、50周年記念事業を各地で行い、私たちの人道奉仕50年の歴史を祝いました。LCIFが提供した交付金やそれによって力を得た奉仕活動、また、その活動によって救われる世界の人々の生活や将来にスポットライトを当てた5ヵ月間に渡るコンテストには、何万人もの人々が参加しました。

「12ヵ月間世界を飛び回って訪問した交付金事業の数々は、私たちがいかに力を合わせて事業をやり遂げるかを見事に示してくれました。」

現在行われているLCIF史上最大規模のファンドレイジングをやり遂げることに、LCIFはさらに多くの支援を提供することが出来るようになります。

「キャンペーン100:奉仕に力を。」は、ライオンズが行う奉仕のインパクトを高め、糖尿病と闘い、私たちが掲げるグローバル重点分野を小児ガン、食糧支援、環境保全を含むものへと拡大することを可能にします。

皆様を代表して私たちの財団の舵を取る名誉を与えてくださいました世界のライオンズの仲間にお礼申し上げます。

熱心に活動するメンバーの皆様のために力を尽くす名誉を与えられ、私の人生はさらに豊かなものとなり、この素晴らしい奉仕団体の一員として大きな喜びを感じています。LCIFが次の50年も世界中の人々に明るい未来をもたらすライオンズの活動を支援していくことを期待しています。

心をこめて



ボブ・コーリュー

ライオンズクラブ国際財団
2017-2018年度理事長

インパクトを与え続けてきた 50年を祝して

1968年以来、世界各地の人道支援事業に10億ドル以上の資金を提供

2017-2018年度だけでも...

人道支援活動

272万6,000人の人々の生活を向上
1,542万3,511ドルの交付金を提供

視力保護

5,789万9,910人に眼科医療を提供
1,000万ドル強の視力ファースト交付金を提供

青少年支援

75万4,000人の青少年がライオンズクエストに参加
ライオンズクエストを新たに7カ国に拡張
227万8,492ドルの青少年関連交付金を提供

災害援助

67万2,000人を救援
934万9,023ドルの災害関連交付金を提供

はしかとの闘い

Gaviワクチン・アライアンスとパートナーシップを
組み、6,100万ドルを超える資金を獲得
1億1,000万人分の予防接種を調達
世界各地でのライオンズのはしか撲滅活動に
約100万ドルを提供



この最初の50年にLCIFは...

ハッピーバースデーLCIF!

2018年6月13日にLCIFは創立50周年を迎えました。LCIFはこの50年、目に見える形で影響を与えながら世界中で展開されるライオンズとそのパートナーたちの活動を支援してきました。この機会にその道のりを振り返り、ライオンズの奉仕で改善された地域や人々の暮らしを祝福すると共に、将来を見据えながら50周年記念日までの1年間に様々なイベントを行ってきました。

この1年、私たちは次の50年に大きな期待を抱きつつ、これまでの活動に感謝すると共に、今後の活動を目の前に謙虚な気持ちでいっぱいになりました。世界をより良い場所にしたいと願って行われるライオンズの奉仕に資金を提供してきた財団の50年の歴史に、世界中のライオンズが思いを馳せました。

世界各地でのお祝い

バースデーは盛大に祝いたいものです。世界各地の会則地域でライオンズやレオたちがLCIF創立記念を祝うパーティーを催しました。リーダーのスピーチに多くのライオンズが心を打たれ、メルビン・ジョーンズ・フェローの栄誉が称えられ、感動的なビデオが上映されました。忙しいプログラムの合間には、甘いお菓子と気心の知れた仲間との談笑があちらこちらから聞こえてくるお祝いムードいっぱいの中で、ライオンズの一人ひとりがLCIFをさらに深く理解する良い機会となりました。

さらに、LCIFのこの50年の成果を示す希望にあふれる写真、ビデオ、エピソードを掲載したウェブサイト「LCIF50.org」が立ち上げられました。ウェブサイトを訪れた多くの人々が、LCIFの豊かな歴史を知ることができる5ヵ月間の50周年記念コンテスト「力を合わせてできること」に参加しました。エントリーした2万3千人のうち、幸運な65人の当選者にLCIF50周年記念特別メダルが贈られ、2018年ライオンズクラブ国際大会で贈呈されました。



ライオンズの活動に10億ドル以上の交付金を提供し、世界各地でポジティブなインパクトをもたらしました。

およそ40万人のスペシャルオリンピックスの選手たちに眼科検診を行い、しばしば社会で弱い立場に立たされる人々への医療確保にも努めています。

910万件の白内障手術を実施し、失明や視覚障害を患っていた人々が再び自立を取り戻しました。

世界100カ国以上の1,600万人を超える青少年に肯定的な学習環境を作り、人生において自分のためになる選択の仕方を学ぶ環境を提供しています。

4,600件を超える災害関連交付金で総額1億1,800万ドルを提供し、被災者の尊厳を守り、希望が持てるよう支援しました。

1億人の子どもたちに、はしか・風疹予防接種を提供しました。



これは単なるファンドレイジング活動ではありません。キャンペーン100は、ライオンズが行う奉仕のインパクトを高め、グローバル重点分野を拡大するためのリソースを提供する世界最大の奉仕組織にふさわしい慈善の文化に深く根差したキャンペーンなのです。

奉仕インパクトの向上
世界で視力障害を減らします。
世界中の青少年に力を与えます。
災害援助を提供します。

糖尿病との闘い
糖尿病を予防します。
生活の質を向上します。

グローバル重点分野の拡大
小児ガンと闘います。
世界の食糧問題と闘います。
環境衛生を守ります。

歴史的なキャンペーン100始動

2018年7月3日、キャンペーン100国際委員長の山田實紘元国際会長および同副委員長のフランク・ムーア元国際会長がそれぞれ、第101回ライオンズクラブ国際大会で「キャンペーン100:LCIF奉仕に力を。」の始動を高らかに宣言しました。

財団史上3回目にして最も果敢なファンドレイジング・キャンペーンであるキャンペーン100は2021年6月末まで実施され、様々な理由で社会的弱者となっている世界の何億人もの人々に、救いの手と希望をもたらすライオンズの事業資金として3億ドルを獲得することを目指しています。そのため、キャンペーン100をきっかけに、LCIFを毎年安定して1億ドルの資金を獲得することができる組織へと変えていきたいと考えています。

明るい未来に向かって

2017-2018年度の目標として、LCIFは前年度比3割増しの5千万ドルの資金獲得を目指しました。結果は目標額を達成するばかりか、それを超えるものとなりました。

ライオンズ、協力団体、その他の様々な方面からの多大な支援を得て、誓約も含めた寄付総額は5,027万8,399ドルに達しました。さらに、今年度の誓約を含めたリードギフトおよびメジャーギフトの総額は史上最も高い水準を達成しました。59件のリードギフト(10万ドル以上)と43件のメジャー・ギフト(2万5千ドル以上)を合わせて総額1,476万8,744ドルとなったことがライオンズ国際協会の2018年国際大会でのキャンペーン100公式キックオフで発表され、キャンペーンにとって幸先の良いスタートとなりました。事実、キャンペーン100は、目標を達成して終えることができた前回のLCIF主要キャンペーン「視力ファースト・キャンペーンII」が獲得した総数を上回るリードギフトおよびメジャーギフトを得て開始されました。

キャンペーン100: 助けを必要とする世界 に手を差し伸べる

なぜ100なのか?

奉仕活動100周年、そしてその先を目指し、LCIFは奉仕の次の100年を見据えています。成功するためにはライオン一人ひとりの参加、つまり、世界中のライオンズが100%参加する必要があります。140万人いるライオンズの一人ひとりが毎年100ドル相当額を寄付すれば、LCIFは毎年1億ドルの資金獲得という果敢な目標を達成することができ、何億人もの人々の暮らしをより良くし、100年後の世界をより良い場所にすることができます。

寄付して汗も流す

ライオンズは今、自らの奉仕の概念を見直すことが求められています。思いやりを無私無欲の行動に移すだけでなく、LCIFに寄付して資金作りに貢献することも奉仕なのです。このように考えれば、単にキャンペーン100の金銭的目標達成を支援すればよいのではなく、今後100年、そしてその先の未来も、ライオンズが重要な奉仕事業を行うことができるよう、皆で十分な交付金の資金確保を支援しなければならないことに思いが至ります。

キャンペーン100の表彰



キャンペーン100寄付者ピン

寄付金額累計が100ドルに達すると寄付者にこのピンが贈られます。寄付金額の増加に合わせて、様々な種類のピンが用意されています。

グローバルな課題

食糧問題 | 毎晩8億2千万以上の人々がお腹を空かせながら眠りにつきます。LCIFは誰もお腹を空かせて困る人がいない世界を目指し、各種リソースを投入し、インフラを整備して世界の食糧不足問題に取り組めます。

小児ガン | 2分間に1人の子どもが、ガンと診断されています。LCIFは、医療および社会福祉サービスの充実を図り、小児ガンを患う子どもたちの世界平均寿命を伸ばし、子どもたちとその家族の生活の質を高めます。

環境保全 | 2025年までに世界人口の半数は水不足地帯で暮らすようになります。LCIFは、世界中の地域の環境衛生を守り、生態学的にも人道支援の観点からも長期的に社会を前進させるインパクトをもたらす取り組みを行います。

糖尿病 | 現在、糖尿病を患う人の数は4億2,500万人ですが、2045年までにおよそ6億3千万人になる可能性があると言われています。LCIFは、多面的かつ包括的な健康医療イニシアチブを通じて世界的に蔓延する糖尿病に取り組む大きな力となります。

視力保護 | 現在、世界で2億5,300万人が失明あるいは何等かの視覚障害を抱えています。その数は2050年までに3倍になるとも予測されています。LCIFは先頭に立って予防可能な失明や視覚障害を減らし、失明や視覚障害を患う人々の暮らしの全般的な質の改善に取り組んでいきます。

青少年育成 | 子どもの3人に2人がいじめの被害を受けていると報告しています。LCIFは、質の高い教育や命を救う医療サービスを誰もが受けられる環境を整備し、別け隔てなく社会参加と娯楽を楽しめる機会と青少年の健全な育成プログラムの提供を通じて、青少年のための奉仕も展開していきます。

災害援助 | 地球上では今、自然災害発生数が増加の一途をたどり、何の罪もない人々から住む家、仕事、そして命までも奪うことさえあります。LCIFは、災害救援活動に懸命に取り組み、自然災害がいつ、どこで発生しようとも対応できるように準備を進めます。

人道支援 | 安全で安価な予防接種で防げるはずのはしかで毎日245人が命を落としています。LCIFは高齢者、障害者、女性、孤児および社会経済的に困窮している人々といった、様々な社会的弱者に対応するプログラムをこれからも支援し、実施していきます。

lionsclubs.org/ja/campaign100

あなたにもできる キャンペーン100への 協力

ライオンメンバー1人当たり
毎年100ドル寄付する

毎月たった8ドル、毎週たった2ドルです。
ウェブサイト lionsclubs.org/ja/donate
で単発寄付または定額寄付を行いましょう。

誓約する

1,000ドル以上の寄付誓約は
3年間かけて支払うことができます。

2万5千ドル以上の寄付誓約は
5年間かけて支払うことができます。
campaign100@lionsclubs.orgまで
ご連絡ください。

100 | 100クラブになる

一会計年度にメンバー全員が
100ドル寄付するクラブになりましょう。

モデルクラブになる

2017年7月1日から2022年6月30日までの期間にメンバー1人当たり平均750ドルの寄付を達成しましょう。
モデルクラブのステータス達成には申請してから5年の猶予があります。
今日こそモデルクラブ申請しましょう!

ライオンズ・サポーター・プログラム

寄付金額50ドル

寄付金額100ドル

寄付金額200ドル

2017-2018年度のLCIF交付金

交付金の種類

人道支援マッチング交付金は、地域社会における教育、技術、医療、子どもたちの安全な遊び場など、規模の大きな人道支援事業を実現するための交付金です。

ライオンズクエスト交付金を通して、学校でライオンズクエストのカリキュラムを確立し拡大させることが可能になります。

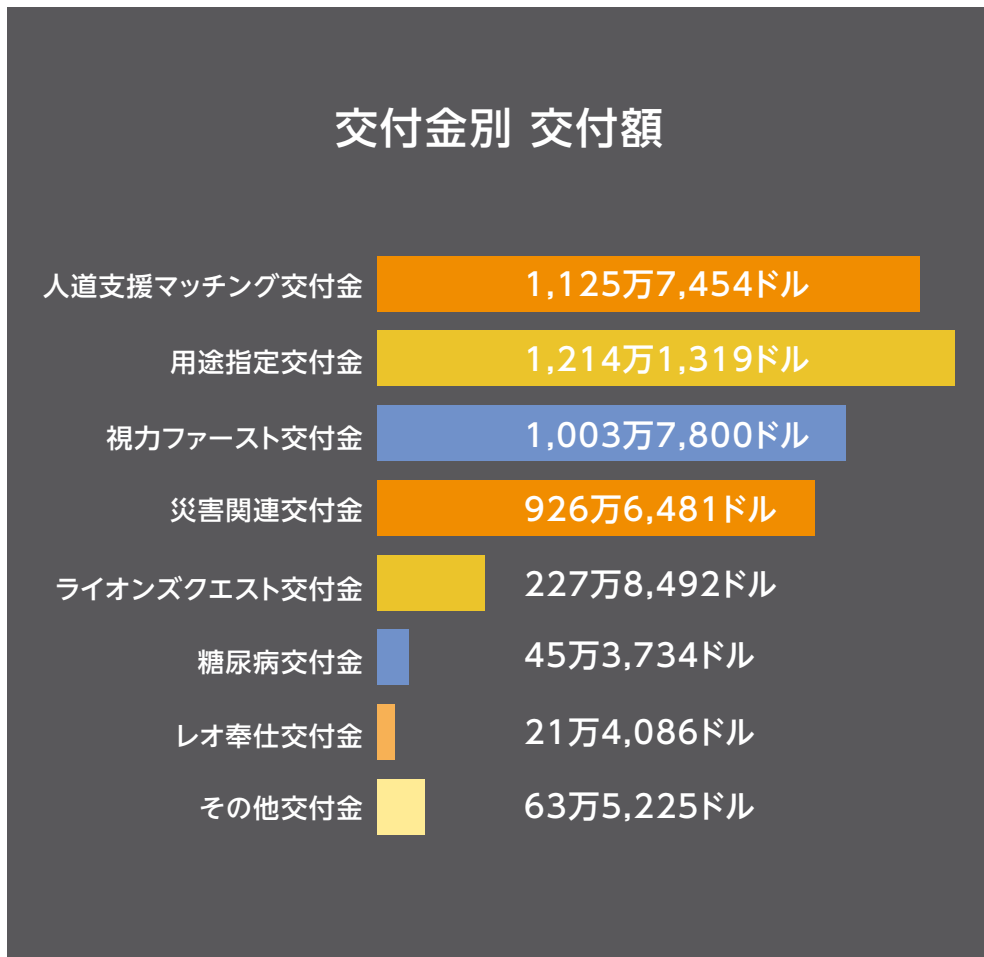
糖尿病交付金を通して、地域の糖尿病に関する意識を高め、必要な医療を受けられる体制を拡大し、糖尿病と診断された人々の生活の質を向上する事業を実現するために活用されます。

視力ファースト交付金は、包括的な眼科医療システムを構築することにより、回避可能な失明と闘い、視覚障害者を支援します。

レオ奉仕交付金は、レオが自ら行う奉仕事業がより大きなインパクトをもたらす機会を提供します。この交付金を利用することでレオは、ある程度大きな人道奉仕を企画し、同時にリーダーシップスキルやライフスキルを養うことができます。

災害関連交付金には災害準備交付金、緊急援助交付金、地域復興援助交付金、大災害援助交付金があり、これらの交付金を通じて、ライオンズは、迅速かつ継続して自然災害の被災者を援助することができます。

用途指定交付金は、ライオンズからの申請に拠らない特定の事業やプログラムに提供されます。この交付金の事例には、LCIFのはしかイニシアチブ「ワンショット・ワンライフ」や難民支援事業があります。

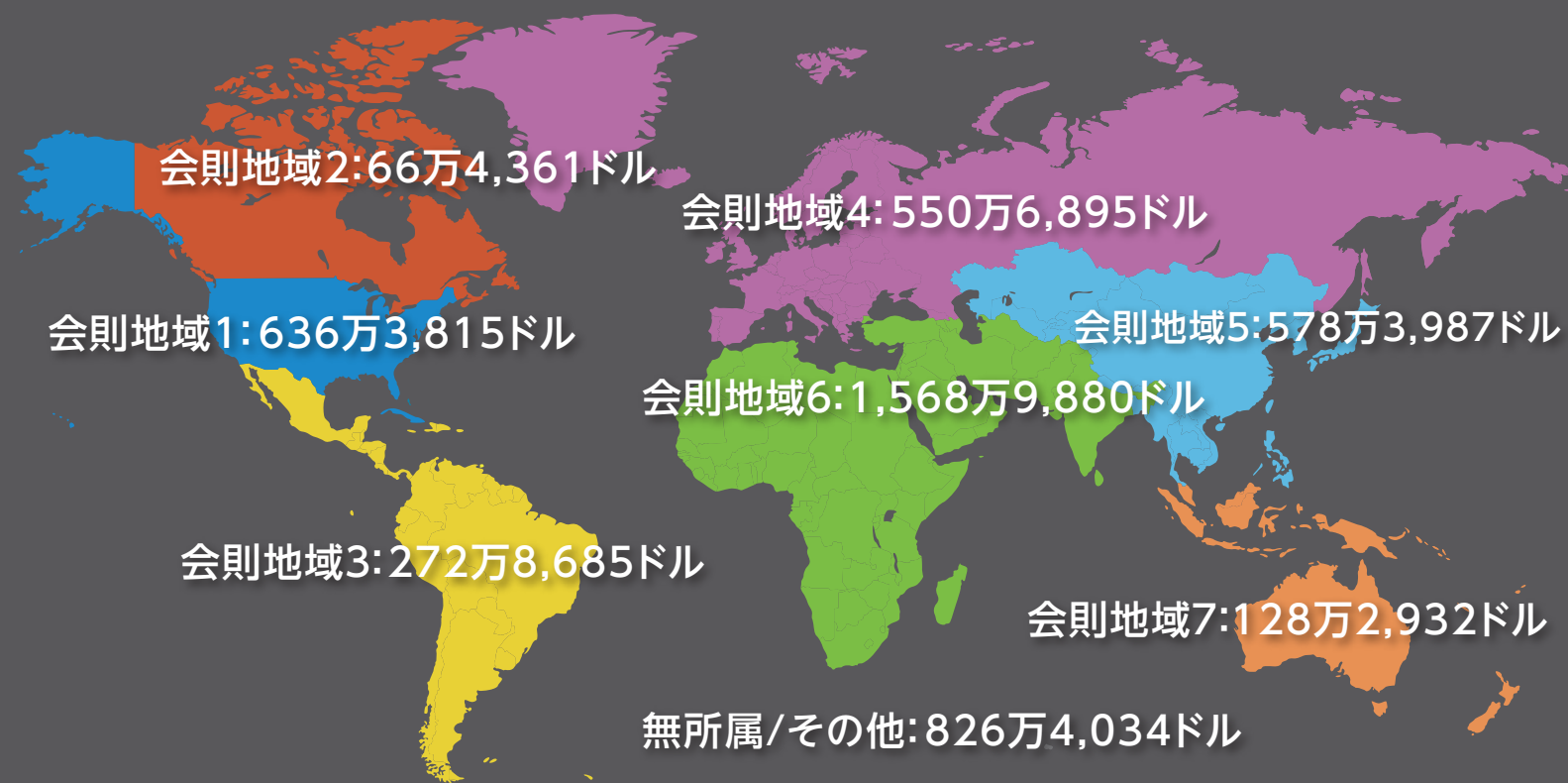


その他交付金 「その他」に含まれる交付金には、ライオンズ人道支援大賞、事業立ち上げ交付金、理事会指定交付金などがあり、LCIFとスペシャルオリンピックスの共同事業として提供される交付金も含まれます。また、国際援助交付金もその他の交付金です。この交付金を通じて、先進国のライオンズクラブと開発途上国のライオンズクラブが提携し、地域社会にプラスの変化を与える事業を実現することができます。

2018-2019年度の新規交付金プログラム

地区及びクラブシェアリング交付金プログラムは、用途無指定で行われたLCIFへの寄付金の15%を地域で実施される事業に還元することを意図した交付金です。

会則地域別 交付額



会則地域1: アメリカ合衆国とその領域、バミューダ、及びバハマ諸島

会則地域2: カナダ

会則地域3: 南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島

会則地域4: ヨーロッパ

会則地域5: 東洋東南アジア

会則地域6: インド、南アジア、アフリカ、及び中東

会則地域7: オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア、南太平洋諸島

無所属/その他:
地区未編成地域及びその他交付金
(はしか、スペシャルオリンピックス、
カーターセンターなど)



互いの健闘を称え合う
スペシャルオリンピックスアスリート

LCIF人道支援交付金は、社会的に立場が弱く、不利益を受けやすい人々やコミュニティーのニーズに応える事業を支援しています。

ブラジルの太陽の下、楽しく健康的な競技会を開催

南米の南部海岸線の砂浜に300名を超えるスペシャルオリンピックスのアスリートたちが集い、初めてビーチ・ゲームが開催されました。大会では、様々な知的能力およびバックグラウンドを持った選手たちが互いに親交を深めました。サッカー、ボッチャ、水泳、バレーボール競技が行われ、競技開催期間中、それぞれ30名前後のライオンズとレオがボランティアとして、アスリートとパートナーを組みました。共に最良のスポーツマンシップと粘り強さを発揮し、金メダルを目指して闘いました。

LCIFは、スペシャルオリンピックスの資金援助パートナーとしての誇りを持ち、数々の共同事業を支援する「ミッション・インクルージョン」に2,500万ドルを超える資金を集めました。

共同事業の1つは「オープニング・アイズ」です。この事業では、知的障害を持つ人々が適切な支援を受け、その声が社会で重みを持ち、自ら前向きな社会変革をもたらすことができるように支援しています。

子どもたちの能力を目覚めさせる「感覚を刺激する中庭」



初めて聞く雷の音に
満面の笑みを浮かべるザッカー

地区38-Oのライオンズは、LCIF交付金7万5千ドルを活用して米国ネブラスカ州・フレモント市にある学校の事務棟にオアシスを造りました。

ホビットハウス、化石ガーデン、ツリーブランコ、そして多感覚を刺激する「スヌーズレンルーム(感覚刺激空間)」を備えた中庭は、このような場所がなければ安全・快適に遊ぶことが出来ない多くの特別なニーズを持つ子どもたちのための安らぎの空間です。この中庭の発案者で強力な推進者のライオン・メリー・ロビンソンにとって、この取り組みは昔も今も無償の活動です。

通常の遊び場では発揮できる能力が限られ、思うように楽しめない特別なニーズを持つ子どもたちの五感をフルに使うように設計された中庭は、初めて経験する手触りを楽しみ、前向きな考え方や仲間外れを作らない態度を促し、学習能力や運動機能の発達を促します。

また、この中庭は、地域の人々に特別なニーズには様々あることをより良く知る機会を提供します。

LCIFと仲間のライオンズの支援を受け、メリー・ロビンソンは「五感で遊ぶ中庭」を完成させました。この中庭のおかげで、3歳のエイデン・クロム君がこの年の子どもなら誰でも真っ先に喜ぶ遊びの時間を心から楽しめるようになりました。生まれつき触覚に過剰な防衛反応を示す彼の身体は、触感を恐怖や痛み、または不快感として知覚します。自分でもコントロールできない触感への防衛反応により、エイデン君はこれまで年齢に見合った発達をすることが出来ませんでした。「五感で遊ぶ中庭」は、この中庭がなければ不可能だったであろう成長の場をエイデン君や彼のような子どもたちの多くに提供しています。中庭のおかげで、エイデン君は今年から幼稚園に通い始めます。

ポーランドのライオンズ
—荒れた公園を蘇らせる

かつて目障りな程大きく生い茂る葉っぱや雑草で覆われ、危険な遊具が点在していたコルチャックの庭は、現在、美しく整備され、近隣の孤児院の子どもたちの安全な遊び場となっています。グダンスク・ゲダニアのライオンズやマイナーツハーゲン/キアシュペ・ライオンズクラブをはじめとするポーランド全土のライオンズが、LCIF人道支援マッチング交付金の支援を受け、この公園の整備事業に数万ドルの資金を集めました。

作業員たちは庭を片付け、安全な遊び場の整備には欠かせない人工芝生を整備し、車イスの人々も公園を楽しめるように小道を新たに舗装整備しました。今日、100人を超える障害を持つ子どもたちが、すべり台、ブランコ、ピクニック用テーブルなど想像を掻き立てる遊具を整備した緑豊かな遊び場で、楽しく、セラピー効果のある遊びに夢中になっています。この事業は、LCIFの資金4万366ドルの提供を受け、地元ライオンズが実現しました。この事業は、本来美しいはずの地域環境を見事に蘇らせた真の共同事業です。



新しい公園のオープニングで
テープカットする地元の子どもたち

人道支援活動



熱心にティッシュボックスを作る入居者

尊厳を取り戻す-韓国

韓国ソウル特別市ウンピョン区の社会福祉施設「エンジェル・ヘブン」が安全を確保できずに閉鎖された時、この施設に暮らしていた男性入居者たち—その多くは知的障害者や重度身体障害者—は、狭いアパートに14名が押し込められた暮らしを4年以上も強いられることになりました。中には面積が50平方メートルにも満たないアパートもあり、トイレも1つだけという劣悪なものでした。

これは、どんな基準を用いても受け入れ難く、韓国のライオンズは、かつて「エンジェル・ヘブン」に暮らし、そのような福祉施設的环境でこそ自分らしさを保って生活することができる50人以上の男性入居者たちに尊厳のある生活を取り戻そうと行動に移しました。LCIF交付金10万ドルの支援を受け、韓国のライオンズは、「エンジェル・ヘブン」、ソウル特別市、厚生福祉省、ウンピョン区と協力し、個々人の部屋と運動や治療のための場所と集会所を備えた安全、清潔かつ近代的な施設を建設しました。現在、入居者たちは、皆が誇りに思える安全なコミュニティで尊厳を保ちながら生活しています。

「エンジェル・ヘブン」にかつて暮らしていた50数名の男性たちに尊厳を取り戻そうと韓国のライオンズは立ち上がりました。



新しい施設で創作活動に取り組む入居者と職員

タイでより多くの命を救う 新しい救急車両

タイ・ナコンサワン県にある18の病院で作る医療ネットワークは130万人の住民に医療を提供しています。このネットワークの中核を担うのがサンプラチャーラク病院ですが、この病院が所有する救急車はたったの2台でした。また、医療機器が整備不足のため、同ネットワークで治療を受ける新生児は、未熟児の合併症として発症する呼吸疾患を患った場合、ほとんど生存の見込みがありませんでした。タイ・シクエア・ナコンサワン及びスコタイのライオンズクラブは、適切な医療整備が命を救い、救急車到着までの数分、数秒が生死の境目となることに気付きました。



この問題を解決するために、一丸となり、新たに救急車1台を購入する代金としてLCIFに7万9,750ドルの交付金申請し、自らも資金集めに取り組みました。新たに1台救急車を導入したことで救急

対応が5割向上し、最も命の危険にさらされる新生児の救命に適切な医療機器を導入し、治療を向上させることができました。タイのライオンズの取り組みとそれを支援するLCIFが命を救っています。



LCIFは資金援助とボランティア支援を通じて世界中に予防接種を届け、はしかの犠牲者を減らす取り組みを行っています。

はしか根絶にLCIF資金6,100万ドルを投入

はしかは大きな苦痛を与えながら多くの子どもの命を奪います。生き残ったとしても、生涯に渡り脳障害、失明、失聴などに悩まされることにもなり兼ねないため、この恐ろしい病気の蔓延を食い止めなければなりません。そこで、LCIFは3千万ドルの資金を獲得し、Gaviワクチン・アライアンスのマッチング資金3千万ドル得て、共同してはしかを根絶するために動き出しました。

世界で最も貧しい国々に暮らす何億人もの子供たちを救おうと2013年に始まったこの活動にライオンズは熱心に応えました。この活動での1ドルにつき1ドルのマッチングは、ライオンズの士気を想像以上に高めました。

それから数年後の2017年12月。ライオンズやその他の寛大なLCIF寄付者のおかげで、この月にLCIFは目標の3千万ドルを達成し、Gaviワクチン・アライアンスのマッチング資金3,100万ドルを加えて総額6,100万ドルを超える資金獲得を達成しました。

マッチング資金の主な提供者は、英国国際開発省及びビル&メリнда・ゲイツ財団です。LCIFは、予防接種を受けたことにより、命をすり減らす病気から自分を守ることができるようになった4,900万人を超える青少年たちに、人生を全うするチャンスを与える重要な資金獲得に一定の役割を果たせたことを誇りに思います。

はしかや風疹からインドネシアの子どもたちを守る

インドネシアでは、はしかや風疹が世界で最も蔓延しており、毎年何千ものウイルスが見つかっています。命を脅かさなくても、悪くすればはしかにより人生が一変してしまう可能性があります。風疹も同じように深刻です。妊婦がかかれば流産の悲劇や先天性疾患を引き起こします。

LCIFからの資金を通じ、インドネシア(307複合地区)のライオンズは、インドネシア政府と協力し、はしか・風疹(MR)予防接種の大規模キャンペーンを行いました。その目標は、インドネシア全土に暮らす子どもたちの少なくとも95%にはしか・風疹の予防接種を受けさせることです。その数約7千万人に及びます。

2段階に分けて実施する事業の1段階目で既に目標を超える結果となり、現在、2段階目が進められています。命を救うはしか・風疹予防接種の恩恵を受ける子どもたちのために、この活動を推進しようと、ソーシャルメディア、ウェブサイト、ラジオ、セミナー等の接点を活用してライオンズは学校関係者や保護者に働きかけています。また、ライオンズは宗教組織のリーダー、地方政府や学校職員にも個別訪問を行っています。社会貢献のために、とことん力を尽くすのがライオンズです。



はしか予防接種に頑張る笑顔を見せる少年

プエルトリコのハリケーン襲来に支援の手を差し伸べるLCIF

2017年9月16日。この日をプエルトリコの史上最悪の日と考える人たちもいることでしょう。この日はまさにそれから絶え間なく続く日々の闘いの始まりだったのです。ハリケーン・イルマが島を襲来したわずか数日後、予想もしなかったハリケーン・マリアがプエルトリコに襲い掛かりました。風速毎時175マイルのハリケーンは電柱をなぎ倒して道路を通行止めにし、洪水を引き起こして死者を出す大災害をもたらしました。しかし、ライオンズはすぐにハリケーンの被災者の救援に動き出しました。そして、壊滅した家屋、消滅した商業施設、かつては豊富な農作物が採れる肥沃な土地だったところに、地域住民の安全のために道をつくりました。

51-C、E、及びO地区のライオンズのリーダーは、すぐに10万ドルのLCIF大災害援助交付金とイスラミック・リリーフ・USAの支援を受け、栄養のある食事を配り、6千人以上がこれからの長い毎日、数週間、数か月間を乗り切ることができるように毎日支援しました。

元協議会議長のライオン・マリアム・ヴァズクエズは立ち直る強さを持ったリーダーの一人でした。自らハリケーンの被害者であったにもかかわらず、彼女は他のリーダーと同じように、被災後の救援活動および長期的な復興活動に懸命に取り組みました。その精神を彼女は次のように詩にしています。「ライオンズはこの地域が再び活気を戻すように懸命に活動する。それは、支援を続ける私たちライオンズ精神であり、周りにどうやって他者に支援の手を差し伸べるべきか手本を示すのだ。」



ハリケーンの被災者に食料と水を届けるライオンズ



ペンシルバニアのモイヤー元地区ガバナー

ハリケーンの脅威に立ち向かうカーLCIF

自然の脅威ハリケーン・ハービーは、2017年8月、米メキシコ湾中部のテキサス州湾岸に上陸しました。風速毎時125マイルの風が吹き荒れ、これまでに経験したことのない豪雨と壊滅的な洪水を引き起こしながら、湾岸地域から内陸へと被害を拡大させました。1万7千人以上が救助を必要とし、3万人が住む家を失いました。

この脅威に立ち向かった力がLCIFでした。10万ドルの大災害援助交付金を提供して応えました。すぐさまライオンズは立ち上がり、交付金を活用して全てを失った人々に食料、水、衣服といった必需品を配りました。

ライオンズと元地区ガバナーのポール・モイヤーは、LCIFハリケーン・ハービー災害救援活動に4千ドルの資金を集めました。モイヤー元地区ガバナーは、ペンシルバニア州で自らが経営するガソリンスタンドで、1ガロン購入につき2セントの寄付で援助資金を確保しました。5週間で20万ガロン以上のガソリンを売り、自ら寄付に協力したことを誇りに感じた多くのお客さんたちもさらに寄付してくれました。ファンドレイジングで知恵を絞り、新しい試みを試すことにより、大きな反響を呼ぶことができるのです。

LCIFは災害援助活動に深く関わり、自然災害に備え、災害が起こった時に現場で救援活動を行います。最初のLCIF交付金は、米国史上最も多くの死者を出した災害の1つブラック・ヒルズ洪水が発生した1972年に、米国サウスダコタ州のライオンズに提供されました。それから40年が経ち、LCIFは今でも災害関連交付金を通じて世界各地の被災地域で短期救援、長期復興を支援し、災害で打ちひしがれている被災者を元気づけるライオンズの活動を支援しています。

メキシコでの地震災害復興支援

2017年9月はメキシコにとって悲しく、試練の時となりました。まず、この100年で最悪の地震がメキシコの太平洋沿岸を襲いました。マグニチュード8.1の地震が発生し、その後マグニチュード5.0以上の余震が何度も続きました。そのわずか11日後、メキシコをマグニチュード7.1の地震が襲い、内陸部をさらに窮地へと追いやりました。

過去に何度も経験されてきたように、大災害発生時には、迅速かつ揺るぎない支援が求められます。LCIFは10万ドルの大災害援助交付金を提供して迅速に対応し、1985年以来最悪の地震で窮地に追いやられたメキシコのライオンズに支援の手を差し伸べました。「ウィー・サーブ」のモットーの下、ライオンズは交付金を活用し、食料、水、衣服、毛布、日用品を詰めた命を守る救援キットを作って配布しました。さらに、救援キット一つひとつに希望と元気づけるメッセージを添え、真の思いやりと配慮を示しました。

被害に打ちひしがれることなく、ライオンズはメキシコ全土で地域の生活再建と復興を支援し続けています。



地震で家をなくした被災者に食料や衛生用品を配るメキシコのライオンズ



ナイジェリア南東部エヌク州アニンリで処方する薬の適量を知るために子どもの身長を測る地域医薬品販売業者「ブレッシング・コンフィデンス・ウド」の販売員

ライオンズは様々な方法で視力保護に取り組んでいます。LCIFは視力保護の取り組みを「視力ファースト」のようなプログラムを通じてサポートします。視力ファーストは、医療体制が整備されていない地域に包括的な眼科医療システムを構築し、失明者や視覚障害者が医療サービスを受けられるように取り組むライオンズを支援します。

明るい未来に向かって

米国ノースカロライナ州に暮らす小学1年生のシャニヤちゃんは、学校の授業についていけず、同級生に後れをとっていましたが、その原因は恐らく失読症という学習障害にあるのだらうと思われていました。3,600ドルのLCIF交付金とウェスタン・ハーネットライオンズクラブ、ブロードウェイライオンズクラブ及びウェルズ・ファーゴ銀行の支援を受けてライオンズが実施した視力検査により、小児科医でさえ見逃していた原因を突き止めることができました。シャニヤちゃんは視力に深刻な問題を抱えていたのです。眼科医による検査の結果、シャニヤちゃんには強度の視力矯正レンズが必要でした。しかもこの視力矯正は恐らく生まれた時から必要だったものでしょう。

「もしライオンズの視力検査がなければ、シャニヤや同じ問題を抱える子どもたちは、原因も分からずにそのまま放っておかれていたことでしょう。LCIFとライオンズは、この幼い少女の人生を永久に変えてくれたのです。」

ーリサ・パーク、眼科医

ウェスト・ハーネットライオンズクラブ所属のヴィンス・スチムモラー地区ガバナーはこう話します。「私たちは放っておくと将来大きな問題になり兼ねない小さな問題を見つける支援をしたいのです。LCIFが支援する研究や資金のおかげで、私たちは特別な視力検査機器を購入することができ、シャニヤちゃんに明るい未来をプレゼントすることができました。」

ナイジェリアで不可能を可能にする

1994年以来、LCIFはカーター・センターとパートナーシップを組み、長年に渡りトラコーマ及び河川盲目症(オンコセルカ症)との闘いに5,900万ドルを超える資金を提供してきました。

かつては克服不可能と考えられましたが、ナイジェリア各地で河川盲目症の根絶に向けて懸命な取り組みがなされています。LCIF、カーター・センター、大手製薬会社のメルク及びナイジェリア政府が共同して取り組んだ結果、ナイジェリア中部プラトー州及びナサラワ州において河川盲目症の感染拡大が止まり、世界で最もこの病の蔓延に悩まされてきたナイジェリアの人々に明るい未来の到来を告げることとなりました。

しかし、今でもナイジェリアの他州及びアフリカ各地に住む多くの人々が河川盲目症に感染しています。今後も精一杯の努力を続けて行かねばなりません。



ウクライナの児童養護施設に電子ルーペを届ける

ウクライナでは、27の児童養護施設で障害を持っている子どもや、失明やロービジョンの子供たちを受け入れています。子どもたちの基本的ニーズに応えることはほとんどの施設で出来ませんが、視覚障害を抱える子どもたちが勉強する時に必要な特別な機材を提供できる施設はほとんどありません。このような状態では、読書や学校の勉強をこなすことは段々と難しくなり、子どもたちが挫折感を味わい、発達に遅れを生じることにつながります。3万4千ドルのLCIF交付金と現地調達資金を活用し、ウクライナのライオンズはテルノポリ児童養護施設に45個の電子ルーペを届け、深刻なロービジョンの子どもたちに希望を届けました。

手持ち操作できる小型のエイドニア・ポータブル電子拡大鏡は、画像を高画質、高コントラスト、カラーで最大32倍まで拡大してスクリーンに映し出すことができます。現在、施設の子どもたちは視覚障害を持たない同年代の子どもたちと同じクラスで勉強に励み、学業成績も優秀です。どんな子どもにも公平に教育の機会を提供する。正にそれをロービジョンの子どもたちのために実現しているのがウクライナのライオンズの取り組みです。

届けられた電子拡大鏡を使って授業を受ける児童養護施設の生徒たち





日記帳とマスコットのQベアーを自慢するライオンズクエストに参加した生徒

LCIFは、質の高い教育や命を救う医療サービスを誰もが受けられる環境を整備し、分け隔てなく社会参加と娯楽を楽しめる機会と青少年の健全な育成プログラムの提供を通じて、青少年のための奉仕を行っています。社会性と情動の学習(SEL)を目的とするライオンズクエスト・プログラムは、安全で思いやりにあふれた参加型の学習環境を促進し、生徒たちが感情をうまくコントロールし、責任ある意思決定を行い、前向きな目標を定められるように、様々なスキルを身につける機会を提供します。

インドにおける男女平等を目指して

性別による暴力や不平等は、残念ながら、社会の至る所で見られる現実です。WHO(世界保健機関)の調査によれば、世界の女性の35%が何らかの身体的または性的な暴力を経験しています。暴力によるケガや精神的ダメージのみならず、世界各地で被害を受けた女性たちは社会から除け者にされています。仕事を見つけることができないため、女性たちは自立し、子どもたちを養う能力さえ限られてしまいます。悲しいことに、この悪循環は続きます。暴力のある家庭で育った子どもは、大人になって自ら暴力を振るったり、振られるようになることもしばしばあります。

幼い時から子どもたちに男女平等を教えることは、この悪循環を断ち切るために重要であり、この問題が蔓延するインドでは特に重要です。インドのメディアと協力し、LCIFは正にこの問題に取り組んでいます。デリーで性別による暴力防止プログラムを試験的に実施し、LCIFは前向きで安全な学習環境の促進に取り組んでいます。「ドスティ・カ・サファル(友情の旅)」と名づけられた試験的プログラムは、ニューデリーと周辺地域に暮らす2千人の若者が男女平等の意識をさらに高められるように、ライオンズクエストの授業をベースに作られました。このプログラムでは、教師のリードにより行われるディスカッション、映画、ライオンズクエストのスキル練習モデルを活用し、学校の教室で学んだ建設的な行動を現実社会でも活かせるように工夫されています。

スロバキアのライオンズクエストのハッピー・テール!

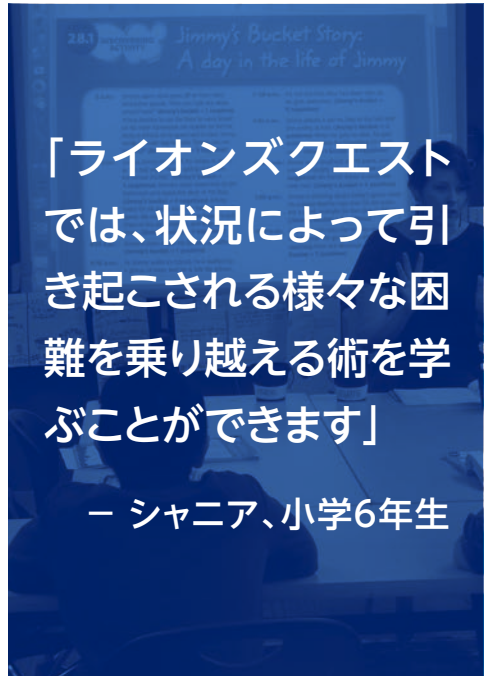
1万ドルのLCIF交付金の後押しを受け、スロバキアでライオンズクエストが始動しました。面白いことに、このハッピーな話(テール)には本物のしっぽ(テール)が登場します!

スロバキアのライオンズは、ハンガリー語とスロバキア語を話す40名の教師を訓練するために、プログラムの教材をスロバキア語に翻訳するのに交付金を活用し、ライオンズクエストを試験的に実施しました。

さて、2本足の参加者の中で、ひとりだけ4本足。しかもしっぽが見えます!これが誰であるかは言うに及ばず。盲導犬のエンディはスロバキア語翻訳者の犬です。ライオンズクエストの非公式のマスコット犬としてみんなの人気者となりました!

ライオンズクエストのシニア・トレーナーのガボル・パップは言います。「ノエミ(翻訳者)の視覚を補うエンディは、私の言葉の理解を補ってくれるノエミのような存在です。」

LCIF、ライオンズそして十分に訓練を積んだ先生たちのおかげで、ライオンズクエストで健康的で生産的な人生を歩むためのスキル学んだスロバキアの生徒たちには、明るい未来が待っていることでしょう。



学校で初めて行われるライオンズクエストの研修とプログラムを喜ぶエンディと教師たち



オーストリア・グラーツの糖尿病キャンプで太陽の日差しを受けながらグラウンドで楽しそうに身体を動かす参加者たち

世界的に主要死亡原因である糖尿病を抱える人々は世界で4億2,500万人おり、患者の中には失明や視覚障害などの合併症を患う人も少なくありません。この危険な病気の拡大は止まるどころか、2045年にはおよそ6億3千万人に影響を与えると予測されています。

糖尿病交付金を通じて、LCIFはこの病気と闘うライオンズの取り組みを長い間支援してきました。糖尿病交付金は、大規模な糖尿病予防および教育を支援し、また、十分な治療を受けていない人々に治療を受ける機会を提供します。どれも世界的に蔓延している糖尿病との闘いに重要な活動です。また、LCIFは視力ファーストプログラムを通じて糖尿病性網膜症に対するヘルスケアに資金援助しています。



「キャンプに参加して同じ病気を抱える新しい友人ができました。一緒に糖尿病について話すことができたことで、苦しんでいるのは自分一人だけではないと思えるようになりました。」

— トーマス、キャンプ参加者

糖尿病と子どもらしさの狭間で

自分は救われたと話すこのメッセージの発信者は、オーストリア・グラーツ近郊で実施されたライオンズの1型糖尿病キャンプに参加したティーンエイジャーのトーマスです。3万2,722ドルのLCIF交付金を受け、ライオンズは9歳から14歳までの子どものために1週間のキャンプを開催しました。

楽しいイベント盛りだくさんのキャンプで、参加者たちは自分の病気の管理の仕方や代謝を高める方法について学びました。これらを学ぶことは、他の子どもと同じように子どもらしくありたいと願う1型糖尿病の子どもたちが健康を維持するためにとても重要です。この取り組みを主導するのは、医療従事者と非従事者の混合チームです。キャンプ開始時に参加者の血糖値を測定し、毎日最大10回ほど参加者の血糖値を測りました。

トーマスと仲間の参加者たちは、互いに親交を深めながら、1週間に渡り、炭水化物の量の計り方、インスリン投与量の計算の仕方、インスリンポンプと注射の取り扱い方などを学びました。キャンプの楽しみはこれだけではありません。キャンプ中に泳ぎに行ったり、他のスポーツを楽しんだりといった余興も大きな楽しみです。参加者たちは太陽の下、新しい友達を作り、楽しい1週間を終えます。キャンプは子ども時代の楽しい思い出として記憶されることでしょう。トーマスと同じように、多くの若者が自分は独りぼっちではないんだという安心感を得て、自分の病気と向き合い、上手に管理できるようになってキャンプを終えました。





ライオンズとLCIFの支援を受けて、家族に食糧を持ち帰る東アフリカの干ばつ被災民

政情不安、食料価格や光熱費の上昇、景気の後退、気候変動。これらの要因で、食糧問題は世界的に最も深刻で差し迫った課題となっています。特に子どもたちがその最大の被害者です。飢餓の問題に取り組む非営利団体ワールド・ハンガー・エデュケーション・サービスが行った調査によると、世界で8億2,100万人が飢えに苦しんでいます。一部の予測では、世界人口全体が十分に食べられるだけの食料が生産されているにもかかわらず、人口の11%が慢性的に欠食状態にあると言われています。

食糧配給を可能とするインフラ整備とフードバンク、給食センターおよび食糧配給施設の対応能力向上に寄与する輸送網の改善を通じて食糧問題に重点的に取り組んでいます。

東アフリカでの食糧支援

多くの人々にとって、東アフリカの干ばつ被災者が置かれた危うい状況を真に理解するのは難しいことかもしれません。ケニア、南スーダン、ソマリアをはじめ、この地域の国々に暮らす何百万人もの人々が急激で深刻な食糧不足に悩まされ始めてから既に7年になります。

悲しいことに、慢性的な欠食に悩み、干ばつで命を落とす人々の数は今でも増え続けています。

この悪循環を断ち切るための前向きな一歩として、2017年8月、LCIFは希望をもたらす交付金2万ドルを提供しました。南スーダンのアウェイルとその周辺で、ライオンズは被災世帯の空の戸棚と食卓を食糧で満たすための支援に交付金を活用しました。被災世帯の世帯主の多くは障害者、女性、高齢者です。

今でも多くの人々が十分に食べられない状況の中、ライオンズとLCIFはこれからも東アフリカで取り組みを続けます。

新しい試み:フィリピンの子どもたちに食事を届ける

世界中で、死亡する3人に1人の子どもが栄養失調のために亡くなっています。フィリピンでは、ライオンズが「現金」という魅力的な報酬を使い、子どもの食料不足と栄養失調を減らそうとユニークな取り組みを行いました。この事業では、子どもたちに身体に良い食事を提供する一方で、親たちに生活費を提供しました。これにより、ライオンズは子どもも親も喜ぶ状況を生み出したのです。

「私たちが目指すのは、1日たりとも子どもたちがお腹を空かせながら眠らなければならない状況や、学校に行かなければならない日無くすことです。」

— ルース・チュア元地区ガバナー、フィリピン・マニラ・アミティー・ライオンズクラブ会長

LCIF交付金1,500ドルの提供を受け、ライオンズは次のような革新的な事業を行いました。栄養不足の子どもたちに毎日ライオンズクラブが提供する補助的給食プログラムで提供される食事を食べさせ、子どもの体重が増えれば、親たちに現金を手渡しました。チュア元地区ガバナーによれば、クラブのメンバーは、ただ一度きり食事を提供したからといって子どもたちに持続的なインパクトをもたらすことは出来ないのではないかと心配したと言います。「LCIFの支援のおかげで、ライオンズは、身体が小さく、軟弱で、病気や感染症にかかりやすく、学校の授業も後れがちな子どもたちに、毎日栄養豊富な食事を提供することができました。その上、必要な現金が子どもたちの親に提供されたのです。」



フィリピン共和国中央部のレイテ島にて、LCIFとタクロバン市ライオンズクラブが提供する栄養豊富な食事を元気に食べる子どもたち



LCIFは、ガンと闘う子どもたちとその家族のために、医療を受ける機会を増やし、生活の質を改善しようと取り組むライオンズに力を与えています。

2分間に1人の子どもが、ガンと診断されています。
ガンの診断を受ける平均年齢は6歳です。
高所得国における生存率は8割ですが、
低・中所得国では生存率わずか1割の国もあります。
小児ガンの子どもの6割以上が低・中所得国に暮らし、
その子どもたちを救うために様々な取り組みが必要です。
LCIFは世界各国で小児ガン専門家と協力し、
質の高い医療を受ける機会を増やし、
ガンと診断された子どもたちの生存率を高めるための
プログラム開発に取り組んでいます。



より多くのリソース=より多く救われる子どもたちの命

「おさんはガンです。」親なら決して耳にしたくない残酷な言葉です。アメリカ合衆国ウィスコンシン州に住む多くの人々にとって、この言葉はウィスコンシン州小児病院で提供される命を救う医療と切っても切り離せません。ウィスコンシン州小児病院では、同州に暮らすガンを患う子どもたちの3分の2にガン治療を提供し、これまで8千人を治療してきました。

ガン治療として骨髄移植が必要な子どもの数が増えていくことが予測される中で、ウィスコンシン州小児病院は新たに莫大な費用がかかる治療技術の導入を必要としていました。そこで、LCIFと思いやりの心を持つライオンズたちが支援に立ち上がりました。LCIF交付金10万ドルとウィスコンシン州にある500以上のライオンズクラブからの支援により、病院は命を救う医療設備を購入することができました。現在、ウィスコンシン州小児病院の医療チームは毎年新たに150人の子どもたちを治療することができるようになりました。

命を救う医療とその設備を整備することは、子どもたちにガンと闘う機会を提供する上で必要不可欠です。LCIFのおかげで、毎年150人の子どもたちがガンと闘い、健康に人生を全うすることができるように支援を受けることができます。



LCIF交付金で整備される学校の井戸の建設に携わるマラウイの建設作業員たち

世界では少なくとも18億人が今なお、汚物で汚染された水を飲料水として使い、世界人口の4割が水不足に苦しめられています。LCIFは、これらの問題を抱える地域で、浄水、灌がい、貯水施設を整備し、衛生設備がないところに新たな設備を整備して環境改善に取り組んでいます。

マラウイの人々のための井戸

人は水を飲まずに3日以上生きることができません。水を飲まない状態で72時間が過ぎると、身体は震え始めます。飲み水に不衛生な水しか手に入らないとしても、その水を飲み、その水を使って食事を用意し、その水で身体を洗うしかないので、つまり、生きるために飲む水が命取りになり兼ねないのです。

環境保全と人道支援に取り組むLCIFは、マラウイの人々に清潔な水を届けようと熱心に取り組むドイツのライオンズに交付金6万ドルを提供しました。

マラウイのマディシ地区では、現在、5基の井戸を掘る作業が進められており、太陽電池で動くポンプが装備される予定です。1基は意図的に学校に整備されますが、これにより、幼稚園児や小学生たちは、学校にいる間は十分に水分補給することができ、学ぶことに集中できるようになります。残りの井戸は近隣の村々に整備され、飲料水、調理用水、身の回りを清潔に保つための水として村人たちに安全で清潔な水を提供します。

清潔な井戸水の効果はそれだけではありません。井戸はマディシ地区の農業にも役立ちます。マディシ地区の農業は、地区人口6割に食糧を供給し、2割の人々にとって主な収入源となっています。



ライオンズのおかげで、マティクと彼女の家族は苦勞なく水が使えるようになった。

アフリカのマラウイ共和国では・・・

- 人口の7割が浄水処理をした清潔な水を飲むことができません。
- へき地に住む人口の約半数は、飲み水を確保するのに30分以上歩いて水汲みに行かなければなりません。
- つまり、マラウイの田舎では、安全な水源を持たない何百万人もの老若男女が家族で暮らしているのです。
- 汚染水を原因とする下痢は、5歳以下の子どもの死亡原因の第2位です。
- マラウイの雨季は平均6か月続き、この期間に年間降水量の95%が降りますが、近年、雨季が短くなってきました。

私たちのパートナー

LCIFは、人道支援の精神と人々の暮らしを良くしようという熱意を共有する企業、財団、政府、民間非営利組織とのパートナーシップを誇りにしています。地域のパートナーに加え、このようなパートナーたちとの協力により、共有し合う様々な資源と経験をより良く活用することにつながります。パートナーシップを組むことで、LCIFと地域のライオンズクラブの問題対応能力を高め、より大きなインパクトを生むことができるのです。

LCIFの各種事業は、パートナーの皆様から多大なご支援をいただいています。



さらに、以下の協力パートナーは、LCIFの支援を受けて各地のライオンズクラブと緊密に連携しています。



世界中のライオンズクラブもまた、地方自治体や各国政府、保健及び教育関係省庁、企業、NPO、その他の地域団体や奉仕組織等とパートナーシップを結んでいます。地域でのこうした協力関係は、LCIFの支援を受けてライオンズが各地域で人道支援事業を開発・実施していく上で欠かせません。

「アンセムでは、アメリカ人の健康づくりに役立つ地域の様々な取り組みを全面的に支援しています。ライオンズクラブ国際財団とアメリカ全土で熱心に奉仕活動に取り組むライオンズが力を合わせ、私たちの愛する地域社会をより良い場所とする活動を共に推進できることを誇らしく思います。」

— ランス・クリスマン アンセム基金事務局長

「我々のパートナーシップの下、これまでに数千人の生徒たちがライオンズクエスト『思春期への対応』を受講し、その結果、薬物使用と飲酒を未然に防ぎ、既に薬物使用や飲酒に手を染めた生徒たちにも、そのような態度を改めるきっかけを与えていることは高く評価すべきだと思います。」

— ギルバート・ゲラ 国連薬物犯罪事務所
事業部薬物予防・健康増進課課長

「世界に広がる大きなネットワークを持つライオンズクラブと協力することにより、Gaviワクチン・アライアンスは、より多くの子どもたちに、はしか・風疹予防接種を届け、最終的には、はしかで命を落とす人や先天性風疹症候群を患う人の数を減らすことができるでしょう。」

— セス・バークレー博士 Gaviワクチン・アライアンスCEO

あなたの寄付が世界を変える

心からの感謝

2017-2018年度にLCIFをご支援くださった寄付者の皆様に心より感謝いたします。皆様のご支援のおかげで、LCIFは世界中で何百万もの人々の人生を変え、暮らしを豊かにするライオンの活動を支援することができたのです。LCIFの各種事業は、以下の皆様から多大なご支援をいただいています。

寄付総額上位10地区

国、地区	寄付額(米ドル)
日本 334-A	\$1,085,880
MD 300 台湾 300-A2	\$1,069,055
MD 300 台湾 300-E1	\$1,012,900
インド 323-F1	\$814,399
日本 335-B	\$733,438
MD 300 台湾 300-D1	\$706,170
MD 300 台湾 300-B1	\$701,000
韓国 354-D	\$619,516
MD 300 台湾 300-B2	\$606,000
MD 300 台湾 300-C2	\$574,000

会員一人当たりの平均寄付額上位10地区

国、地区	会員一人当たりの平均寄付額(米ドル)
MD 300 台湾 300-E1	\$486
インド 323-F1	\$301
MD 300 台湾 300-B2	\$269
MD 300 台湾 300-A2	\$266
MD 300 台湾 300-D1	\$234
MD 300 台湾 300-B1	\$232
MD 300 台湾 300-A1	\$204
MD 300 台湾 300-E2	\$189
MD 300 台湾 300-D2	\$177
日本 334-A	\$165

寄付増加率上位10地区

国、地区	増加率
メキシコ B-3	2,871%
インド 318-D	971%
インド 323-F2	583%
ブラジル LC-2	524%
インド 321-D	424%
バングラデシュ 315-B4	401%
中国 390	387%
メキシコ B 8	378%
インド 323D1	349%
ナイジェリア 404 B1	322%

2017-2018年度 上位寄付者

50万ドル以上 — Aruna Oswal, インド / 25万ドル以上 — Richard Smith, 米国

10万ドル-24万9,999ドル

Magnet Lin MD300 台湾
川島 正行 日本
Hsiu-Jung Huang MD300 台湾
John Knepper 米国
山田 實紘 日本
Hsin-Chih Lin MD300 台湾
Ta-Lung Chiang MD300 台湾
鈴木 誓男 日本
Vuthi Boonnikornvoravith タイ
不老 安正 日本
Shu-Chin Liao Huang MD300 台湾

5万ドル-9万9,999ドル

Wen-Chuan Wang MD300 台湾
山新田 友明 日本
Kyu-Dong Choi 韓国
Feng-Chi Chen MD300 台湾
小野寺 眞悟 日本
Po-Kuang Chang MD300 台湾

2万5,000ドル-4万9,999ドル

吉村 千鶴子 日本
Hong-Soon Jun 韓国
Jung-Yul Choi 韓国
Liang-Chin Chiu MD300 台湾
In-Kyo Oh 韓国
Ching-Ming Meng MD300 台湾
Wing-Kun Tam 中国・香港
Eng Hoe Goh マレーシア
曾山 純廣 日本
櫻井 貴裕 日本
Yi-Tu Cheng MD300 台湾
I-Lang Cho MD300 台湾
榎本 舜治 日本
Fu-Lung Tang MD300 台湾
栢森 新治 日本
Pai-Hsiang Fang MD300 台湾
Ling-Hsun Chao MD300 台湾
Kuei-Chu Liu MD300 台湾
Yoon-Sung Kang 韓国
Shyam Malpani インド
矢野 進 日本
Joo-Hwan Yang 韓国
Jong-Seok Kim 韓国
Fu-Yu Yang MD300 台湾
Frank Sampson MD300 台湾

1万ドル-2万4,999ドル

北野 憲太郎 日本
Chin-Shih Ou MD300 台湾
Hsiu-Feng Tsou MD300 台湾
Soon-Gil Lee 韓国
Charlie Chan シンガポール
Young-Ja Lee 韓国
Myung-Soo Ha 韓国
松岡 勲 日本
Paul Settlemeyer 米国
Li-Feng Chen MD300 台湾
Jui-Yang Tung MD300 台湾
Hsuan Hsueh MD300 台湾
Hung-Lin Tseng MD300 台湾
小高 左起子 日本
J Frank Moore III 米国
Min Sheng Chen MD300 台湾
秋山 泰行 日本
Jayashree Kumar 米国
Nathan Mulenga ザンビア
Chul Woo Yang 韓国
藤弥 一司 日本
溝淵 義雄 日本
Jitendra Bhowmik バングラデシュ
加藤 助太郎 日本
Shu Hsun Hsu MD300 台湾
Seung-Tak Hyun 韓国
Sang-Ok Lee 韓国
Tsai-Chiu Lee MD300 台湾
In-Hwa Park 韓国
Tsan-Hsun Wang MD300 台湾
Fang-Lin Wang MD300 台湾
Shui-Chuan Chao MD300 台湾
Mei-Ling Huang MD300 台湾
Mei-Yu Chen MD300 台湾
Bog-Sik Lee 韓国
佐藤 義雄 日本
Sang-Beom Kang 韓国
北畑 英樹 日本
岩崎 一雄 日本
岩佐 泰宏 日本
Andrew Eden ケイマン諸島
Michael Jan MD300 台湾
林田 俊一 日本
有野 勇 日本
Chin-San Huang MD300 台湾
Ching-Li Lee MD300 台湾
鶴嶋 浩二 日本
齋藤 善裕 日本
Denny Hsu MD300 台湾
Chien-Chung Liao MD300 台湾

西木 宣雄 日本
高井 利夫 日本
Chuen Chi Lee MD300 台湾
苗加 康孝 日本
Tu-Shih Wang MD300 台湾
Yu-Chin Lin MD300 台湾
Mei-Ling Chien MD300 台湾
Tung-I Tsai MD300 台湾
松岡 聡道 日本
後藤 典生 日本
Gang-Su Ha 韓国
伊賀 保夫 日本
Kuo-Tai Lin MD300 台湾
Elien Van Dille ベルギー
Kajit Habanananda タイ
Johnny C C Chang MD300 台湾
Lewis Quinn 米国
M A Hassan バングラデシュ
山田 春雄 日本
鯖江 敏子 日本
武田 勝行 日本
八坂 信雄 日本
山浦 晟暉 日本
越村 義雄 日本
阿部 一茂 日本
田中 友一 日本
Bob Corlew 米国
Yen-Yoo Wu MD300 台湾
Paul Chor Ho Fan 中国・香港
市川 元昭 日本
No-Jin Jung 韓国
Chin-Lien Tsai MD300 台湾
Shu Chiou MD300 台湾
Supa Manathanya タイ
Jang-Seon Byeon 韓国
Lin Hui MD300 台湾
Ming Huang MD300 台湾
Mei-Yu Wu MD300 台湾
Sen Hsieh MD300 台湾
Li Lin MD300 台湾
Suz Chen MD300 台湾
Byoung-Moo Kwon 韓国
Mei-Li Huang MD300 台湾
Pi-Ying Ho MD300 台湾
Nick Mocerri 米国
Ming-Tsung Huang MD300 台湾
Somsakdi Lovisuth タイ
Chin-Shih Ou MD300 台湾
Mei-Yu Wu MD300 台湾
Byung-Yeol Ahn 韓国

Chul-Jae Lee 韓国
Kuei-Chu Liu MD300 台湾
Liao-Chuan Huang MD300 台湾
Yin-Mei Su MD300 台湾
Lai-Hsin Fang MD300 台湾
Chin-Chan Sun MD300 台湾
Fu-Lai Tsai MD300 台湾
Eagle Chao MD300 台湾
Stuart Sims 米国
Nai-Cheng Chi MD300 台湾
Chun-Huang Hsu MD300 台湾
Chin Han Ku MD300 台湾
山口 毅 日本
Jui-Tai Chang MD300 台湾
Liao-Song Lin MD300 台湾
Kuo-Sung Tsai MD300 台湾
Yung-Chang Chuang MD300 台湾
野村 善弘 日本
C H Lai MD300 台湾
Cheng Jung Chang MD300 台湾
Kao Chi Lin MD300 台湾
Shih I Yu MD300 台湾
Ruey-Chen Chen MD300 台湾
A-Luan Chiu MD300 台湾
Bog-Su Ha 韓国
Sang-Chul Lim 韓国
Richard Davis 米国
Hsin Man Chen MD300 台湾
Jen Fu Lai MD300 台湾
Kuo Liang Chen MD300 台湾
Hui-Ling Su MD300 台湾
Huei Mine Yu MD300 台湾
Tian-Ding Lee MD300 台湾
Yueh-Chin Chiang MD300 台湾
西田 雅弘 日本
Su-Lin Chou MD300 台湾
Young-Soo Lee 韓国
Kun-Lung Tsai MD300 台湾
藤井 一弘 日本
Hyeong-Kyu Joo 韓国
Ming-Fang Li MD300 台湾
Cheng-Chin Li MD300 台湾
Chiao-Yi Chen MD300 台湾
Tien-Li Kuo MD300 台湾
Ming Chi Chang MD300 台湾

2017-2018年度LCIF理事会



ボブ・コーリュー

LCIF理事長
ライオンズクラブ国際協会 前国際会長
米国・テネシー州



ジュンヨル・チョイ

ライオンズクラブ国際協会 国際第二副会長
韓国・釜山市



栢森 新治

会則地域5
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
日本・愛知県名古屋市



ジム E. アーヴィン

LCIF副理事長
ライオンズクラブ国際協会 元国際会長
米国・ジョージア州



ヘインズ H. タウンゼンド

ライオンズクラブ国際協会 国際第三副会長
米国・ジョージア州



シャイアム・マルパニ

会則地域6
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
インド・マハラシュトラ州



インキョ・オー

会員一人当たりの寄付額が3番目に多い国
ライオンズクラブ国際協会 元協議会議長
韓国・ソウル市



N.S. サンカー

LCIF幹事
会員が2番目に多い国
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
インド・タミルナードゥ州



クレム F. クジラク

会則地域1
ライオンズクラブ国際協会 元国際会長
米国・メリーランド州



バリー・J・パーマー

会則地域7
ライオンズクラブ国際協会 元国際会長
オーストラリア・ニュー・サウス・ウェールズ州



カジット・ハバナナング

元LCIF理事長
ライオンズクラブ国際協会 元国際会長
タイ・バンコク市



チンリー・リー

LCIF会計
会員一人当たりの寄付額が最大の国
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
MD300 台湾・高雄市



ガーネット・E・デービス

会則地域2
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
カナダ・サスカチュワン州



テベベ・イエマネ・ベルハン

アフリカ代表
ライオンズクラブ国際協会 元地区ガバナー
エチオピア・アディスアベバ市



山田 實紘

LCIF理事会アポインティ
ライオンズクラブ国際協会 元国際会長
日本・岐阜県美濃加茂市



ナレシュ・アガワル

ライオンズクラブ国際協会 国際会長
インド・ニューデリー



ファビオ・デ・アルメイダ

会則地域3
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
ブラジル・サンパウロ市



ロバート S. リトルフィールド

会員が最も多い国
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
米国・フロリダ州



アレクシス・ヴィンセント・ゴメス

LCIF理事会アポインティ
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
コンゴ・ポアントノアル市



グドラン・イングバドター

ライオンズクラブ国際協会 国際第一副会長
アイスランド・ガルザバイル市



フィリップ・ジェロマル

会則地域4
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事
ベルギー、ブリュッセル市



鈴木 誓男

会員一人当たりの寄付額が2番目に多い国
ライオンズクラブ国際協会 元地区ガバナー
日本・愛知県岡崎市

今日こそ世界を 救う寄付を しよう

LCIFへの寄付は1ドル残らず全て、奉仕事業に使われています。
LCIFを支援し、あなたも人々の暮らしを良くする力になりましょう。

www.lionsclubs.org/ja/donate



財務報告 (数字はすべて米ドル)

財務状況報告書 至 6月30日

資産	2018年度	2017年度	負債および純資産	2018年度	2017年度
現金及び現金同等物	\$ 15,158,714	\$ 10,411,691	未払金	\$186,799	\$330,838
未収投資収益	318,953	285,292	買掛金	324,642	308,280
未収金、正味	109,494	73,960	ライオンズクラブ国際協会からの未収金	1,558,802	
米国外ライオンズ地区からの未収金	487,342	447,692	未払交付金	27,441,104	33,433,602
ライオンズクラブ国際協会からの未収金	—	721,519	慈善寄付年金	157,911	165,130
前払費用	1,204,968	1,081,953	純資産		
誓約、正味	6,740,198		用途無指定	224,787,866	216,800,176
投資	288,613,667	300,418,834	用途指定	58,686,227	62,751,713
有形固定資産(減価償却後)	459,990	348,798	純資産合計	283,474,093	279,551,889
その他の資産	50,025	—	負債合計および純資産	\$313,143,351	\$313,789,739
資産合計	\$ 313,143,351	\$ 313,789,739			

活動報告書 自2017年7月1日至2018年6月30日

運営	用途無指定	用途指定	合計
収入及び経費			
寄付	\$ 23,602,378	\$ 24,476,178	\$ 48,078,556
プログラム純収入	330,611	—	330,611
投資純収入	14,004,932	33,130	14,038,062
用途指定条件が解除された純資産			
目的充足義務のある用途指定寄付収入	28,596,980	(28,596,980)	—
運営収入および利益合計	66,534,901	(4,087,672)	62,447,229
支出および損失			
プログラム支出			
交付金	44,519,791	—	44,519,791
視力ファースト	2,563,068	—	2,563,068
ライオンズクエスト	2,235,606	—	2,235,606
その他	1,705,633	—	1,705,633
プログラム支出合計	51,024,098	—	51,024,098
運営管理	4,595,906	—	4,595,906
開発	6,775,958	—	6,775,958
運営経費合計	62,395,962	—	62,395,962
運営経費を上回る(下回る)運営収入及び利益	4,138,939	(4,087,672)	51,267
運営外	用途無指定	用途指定	合計
収入と利益			
投資純収入	4,112,344	22,186	4,134,530
為替純損失	(276,110)	—	(276,110)
慈善の変動額			
慈善寄付年金	(21,050)	—	(21,050)
雑収入	33,567	—	33,567
運営外収入及び利益合計	3,848,751	22,186	3,870,937
純資産の変動額	7,987,690	(4,065,486)	3,922,204
期首純資産	216,800,176	62,751,713	279,551,889
期末純資産	\$ 224,787,866	\$ 58,686,227	\$ 283,474,093



キャッシュフロー計算書 至6月30日

運営活動からのキャッシュフロー	2018年度	2017年度	投資活動からのキャッシュフロー	2018年度	2017年度
純資産の変動額	\$ 3,922,204	\$ 9,984,956	投資購入	(58,173,828)	(115,904,484)
純資産の変動額と運営活動による純現金収支を整合させるための調整			投資売却による収益	85,676,063	127,626,330
減価償却費	97,725	102,003	有形固定資産購入	(208,917)	—
純実現および未実現投資(利益)			投資活動による純現金収支	27,293,318	11,721,846
投資損失	(15,697,068)	(21,308,496)	期首の現金および現金同等物	10,411,691	10,279,136
運用資産および負債の変動額			期末の現金および現金同等物	\$ 15,158,714	\$ 10,411,691
未収投資収益	(33,661)	42,227			
受取勘定	(35,534)	(4)			
米国外ライオンズ地区からの未収金	(39,650)	(6,760)			
ライオンズクラブ国際協会からの未収金	721,519	504,682			
前払費用	(123,015)	(125,389)			
誓約、正味	(6,740,198)				
その他の資産	(50,025)				
未払金および未払費用	(127,677)	279,932			
ライオンズクラブ国際協会からの未収金	1,558,802	—			
未払交付金	(5,992,498)	(1,051,542)			
慈善寄付年金	(7,219)	(10,900)			
運営活動による純現金収支	(22,546,295)	(11,589,291)			